

進路だより

NO. 51 平成31年 2月13日



京都府公立高校中期選抜の評定について

中期選抜の報告書に記入される評定は、2月10日現在の記録です。この成績は、12月の評定から変化している可能性があります。中期選抜の受検を予定している人は、気になることと思います。その2月10日評定が知りたい人は、担任の先生にその旨を伝え、教えてもらってください。**通知期間は、2月18日（月）から2月22日（金）とします。**通知は、口頭で行います。その期間に受験などで学校に一度も登校しない場合などは、事前に担任の先生に相談してください。

私立高校1.5次入試について

京都府私立中学高校学校連合会のホームページに2月7日の段階での、1.5次入試実施校が掲載されていますのでご案内します。必要な場合は、中学校へご相談ください。

1.5次試験

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 一 燈 園 高 校 | …2月19日（火） |
| 華 頂 女 子 高 校 | …2月22日（金） |
| 京 都 外 大 西 高 校 | …2月23日（土） |
| 京 都 学 園 高 校 | …2月17日（日） |
| 京 都 光 華 高 校 | …2月25日（月） |
| 京 都 廣 学 館 高 校 | …2月23日（土） |
| 京 都 翔 英 高 校 | …A日程2月19日（火）、B日程2月26日（火） |
| 京 都 精 華 学 園 高 校 | …2月23日（土） 普通科のみ |
| 京 都 聖 母 学 院 高 校 | …2月20日（水） |
| 京 都 橘 高 校 | …2月17日（日） 国公立進学Sコースのみ |
| 京 都 西 山 高 校 | …2月22日（金） |
| 京 都 文 教 高 校 | …2月23日（土） |
| 京 都 明 徳 高 校 | …2月17日（日） |
| 京 都 両 洋 高 校 | …2月17日（日） |
| ノートルダム女学院高校 | …2月18日（月） |
| 東 山 高 校 | …2月26日（火） |
| 平 安 女 学 院 高 校 | …2月25日（月） |
| 洛 陽 総 合 高 校 | …2月17日（日） |

私立入試の結果の先に・・・

私立高校の入試結果が、続々と出ています。みんなの中には、私立高校を推薦受験や専願受験をして、入試が一段落ついた人もいるでしょう。よかったですね(*^_^*)

……………では、次を考えましょうか! (^ ^)!

まず、わかっておいてほしいのは、すべての人が希望通りの結果ではないということ。そして、公立高校の選抜の結果が卒業式の後にしか出ないということ。自分が合格したから、この後の学校生活が横着になるようでは、団体戦の一員としては良くありません。まだ、闘っている仲間がいるということを忘れないで行動してください。それは、「がんばれ!」と声をかけることや、掃除などを代わるなどという目に見える形のサポートだけではなく、闘い続ける者への敬意の顕れとして、「空気を整える」という目に見えないサポートをしてほしいということです。

次に、この一年間続けた、将来の目標を今一度思い出してください。高校に合格することが目標ではなかったはず。入試は、遠い目標に向かうための一つの通過点でしかありません。それを越えた今、少し休憩するにしても、次の通過点に向けて歩き始めてください。その歩くということが、どういう行動なのかは、目標が定まっているなら自ずからわかるはずです。

残念ながら願いが届かなかった人。これは心の修行です。前にもいいましたが、百戦して百勝するというわけにはいきません。うまくいかないときは、これからの人生でも必ずあります。そのときにどのように振る舞うか? そのことで、あなたのすべてが決まるとは考えていませんが、でもとても大切なこと。何かの本に書いてありました。「負け戦こそ本当の闘い」です。とはいえ、不安や迷い、怒り…そして祈りや願い…いろいろと渦巻く感情は、全教職員で受け止めます。いつでも何なりと相談してください。

ところで、人間生きていれば、自分の思い通りにいかないことはたくさんあります。そして、思い通りにいかない状況で努力を続けるのは、なかなか簡単なことではありません。しかし、その状況でも努力を怠らない人たちがいます。その人たちがどのような特徴を持っているのか? を研究したところ、「GRIT (グリット: やり抜く力)」が強かったという結果が出ているそうです。グリットが強い人は、2つの特徴を持っています。一つは、自分の方向性(目標)をよく理解していること。もう一つは、困難な状況でも、粘り強く、努力できること。一つ目の特徴については、この1年間問い続けましたね。二つ目は、どうですか?

そして、この研究の良いところは、グリットは誰にでも備わっていて、その力を伸ばすことができると考えているところ。そして、人生の長いマラソンでどこまでがんばれるかは、「才能」によるのではなく、圧倒的に「努力」にかかっていると考えているところです。

グリットの研究はどうやらまだ始まったばかりで、その存在すら定かではないようです。しかし、自分の人生が、「才能」とか「センス」とかいう、あらかじめ個々人に与えられている? よくわからないものによって左右されると考えるより、自分の能力は固定しておらず、努力によって変えられる、と信じて生きた方が、より多くの可能性があると思いませんか?

今は思い通りにいなくても、自分の目標を見つめて、小さな努力を積み上げられること。諦めずに粘り強く努力を継続できること。そういうことが当たり前でできる人であってほしいと願っています。この研究の成果をまとめたアンジェラ・ダックワース著『GRIT (やり抜く力)』は、桂中学校の図書館にもあります。興味がある人は読んでみてくださいね。